

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学概論Ⅱ	2年次 後期	必修	講義	1単位（15時間）	原澤 由美子※
授 業 概 要					
公衆衛生看護学概論Ⅰでの学習内容をふまえたうえで公衆衛生看護の活動形態と活動技法について学び、これから学ぶ公衆衛生看護学方法論の基礎とする。					
到 達 目 標					
1. 公衆衛生看護における活動技法を述べる。 2. さまざまな対象への公衆衛生看護活動技法を述べる。 3. 公衆衛生看護での活動技法に関連する概念・理論とその方法を述べる。					
実務経験のある教員					
原澤 由美子・篠田 浩子・佐藤 美恵子： 市町村での現場経験を踏まえ、公衆衛生看護活動の形態と技法について概説する。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-5	1. 公衆衛生看護における活動技法 1) 活動技法の種類 ①家庭訪問 ②健康相談 ③健康教育 ④健康診査 ⑤グループ・地区組織活動の支援 ⑥地域ケアシステムづくり 2) 対象規模別、健康レベル別の支援方法 3) さまざまな公衆衛生看護活動の場での支援方法				原澤 由美子※
6-8	2. 公衆衛生看護の活動技法に関連する概念・理論とその方法 1) ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチ 2) アウトリーチ 3) 多職種・多機関との調整・連携・協働、活動支援 4) ソーシャルキャピタルの醸成と活用 5) 行政看護における地区担当制と業務担当制 6) PDCA サイクルの駆動、事業・施策・政策形成				原澤 由美子※ 篠田 浩子※ 佐藤 美恵子※
学 習 方 法					
講義 グループワーク					
評 価 方 法					
科目修了試験					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル					